

糖尿病チーム

糖尿病はインスリンの作用不足で高血糖が継続し、身体に様々な悪影響を及ぼす疾患です。糖尿病の治療の中心となるインスリンが発見され100年以上経過し、近年様々な糖尿病の治療薬が使用できるようになっています。しかし、わが国において糖尿病のある人は増加傾向であり、香川県でも同様に増加傾向です。また、残念なことに香川県の糖尿病死亡率は近年全国上位が続いています。このような状況に対して少しでも役立てるように当院では多職種で連携する糖尿病チームで活動を行っています。

当院での糖尿病チームの活動について

当院での糖尿病チームは内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学・作業療法士などで構成されており、糖尿病専門医（非常勤・外来業務中心）と連携して活動をしています。主な活動としては、外来中心の栄養指導・服薬指導・療養指導・フットケア、入院患者を対象とした糖尿病チームラウンド、院内職員を対象にした研修会・啓蒙活動などです。



栄養指導・服薬指導・療養指導

・フットケア

当院では管理栄養士が主体の栄養指導、薬剤師が主体の服薬指導、看護師が主体の療養指導・フットケアを行っております。いずれも糖尿病の治療を行っていく上で重要であり、外来担当医と情報共有しながらよりよい治療を目指して活動しています。



糖尿病チームラウンド

当院入院中の患者さんを対象に糖尿病治療に対する不安や疑問の解消、日常生活における注意事項の説明などを行っております。特に高齢者に多い無自覚性低血糖への注意喚起や、シックデイ時の対応などに重点をおいています。



研修会・啓蒙活動

院内職員を対象に糖尿病関連の研修会を行っております。糖尿病そのものだけでなく、糖尿病の合併症、新しい血糖モニタリング機器・新薬などについて情報共有を行っています。また、近年のテーマとなっているスティグマ(偏見や差別)などにも対応を行っています。

(文責 宮高 紘輔)



院内研修の様子

地域住民を対象とした『やさしく学べる健康講座』

大変好評でした！

